

JAだより

1

2018

January

第115号

特集

新年を迎えて

JA白山の新たな挑戦



表紙の写真

お正月飾り
色とりどりのしめ縄
(よらんかいねえ広場)

しめ縄は「神の世界」と「現世」を隔てるという意味合いをもつとし、悪しきものを払ったり、この世と神の世界を隔てる結界の意味を持つ。正月には年神様と呼ばれる豊作と幸福をもたらす神様が降りてくる事から、しめ縄を飾って場を清めておく。神様にとってしめ縄は「神聖な場所」であることの目印にもなるといわれている。





年頭のご挨拶

代表理事組合長

竹内文雄

明けましておめでとうございます。組合員の皆さまには、健やかな新年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。また、旧年中はJA事業に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の日本経済は、好調な企業業績を背景に、戦後最長の景気拡大の可能性が示されました。しかし、生産年齢の人口減少や働き方改革の影響から人手不足の現象が起き、労働力の確保と景気への影響に懸念があります。

農業情勢においては、3年連続で全国の作付超過が解消され米価は持ち直し傾向にあります。依然として低価格の状態です。また、生産者の高齢化や担い手不足の問題は改善が進まず、日本農業の喫緊の課題であります。農業政策面は、平成30年産から国による生産調整配分が都道府県ごとの産地調整へ転換が図られ、同時に米の直接支払交付金も廃止されるなど米の需給調整に不安が広がっています。

一方、農協をとりまく情勢では「改正農協法」の施行により、JAグループは一丸となって農協改革を進めています。先送りとなっている准組合員の事業利用規制は、農水省が平成33年3月を目途に結論を出すとしており、結果によってはJAの弱体化に繋



がる大きな問題となっています。JAグループでは全国JA大会で決定した自己改革の三本柱『農業者の所得増大』、『農業生産の拡大』、『地域の活性化』を掲げ全力で取り組むとともに、平成31年4月に全国の組合員を対象とした自己改革のアンケート結果をもとに政府との交渉を進める方針です。

当農協における改正農協法への対応では、先ず役員構成要件の見直しを行い、「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」に向け、水稲プラス園芸を基本に園芸重点5品目の産地化や、生産資材のコスト低減等に努めているところでもあります。

昨年、JA白山は合併10周年記念大会でJAの発展を祝うとともに、さらなる前進を誓いあい、引き続き今年度からの組織・事業基盤の強化に向けた第2次組合員加入促進3力年運動では、最終目標七千組合員達成にあと僅かまで迫り、基盤強化が着実に進展しています。また、大型直売所「よらんかいねえ広場」は開店以来2年6か月を経過し毎年順調な伸びを示し、地産地消の拡充と地域農業の振興・所得増大の役割を担うところまで成長してまいりました。今後はさらなる地域農業の活性化と核としての機能強化が重要と考えていますので新規出荷者の増大と生産拡大に期待をいたしているところであります。本年もJAは地域になくならない組織として農業の振興と地域の活性化、組合員生活の向上に向け、役職員一同頑張つてまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に組合員皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで

新春のお慶びと

申し上げます

本年も変わらぬご愛顧のほど

よろしくお願いいたします。

代表理事組合長 竹内文雄

副組合長理事 東藤富士雄

代表理事専務 奥谷英喜

代表理事常務 柄田俊樹

代表監事 今村文雄

常勤監事 藪田廣司

他 役職員一同



平成29年度

支店運営委員及び総代との意見交換会

農業を取り巻く環境がますます厳しさを増す中、JA白山の役員と組合員が、平成29年11月～12月にかけて、JAの事業や協同活動の展開について集落・ブロック単位で意見交換会を開催しました。

4回目になる今年度は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」をテーマに、組合員からは、「今後の米政策」「園芸作物振興の取り組み」等についての質問が多くあり、活発な意見交換が行われました。中には、JAの「自己改革の取り組み」を実施することで政府が求めている農協改革に達するのにかという、ご心配の声も聞かれました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、理事会で検討を行い、事業活動へ反映してまいります。今年も全体で280名の運営委員・総代等の出席をいただき活発な意見交換会となりました。



11月29日大神地区にて



12月26日鳥越地区にて



11月14日蝶屋地区にて



12月16日小柳地区にて



理事会だより

第10回理事会

日時／平成29年12月26日火 午後1時30分

審議事項

第1号議案 平成29年度上期監事監査指摘事項に対する回答について
平成29年度上期監事監査指摘事項の回答について審議し可決しました。

第2号議案 道の駅直売所経営計画及び諸契約の承認について

平成30年春の開業を目指す道の駅「めぐみ白山」農産物直売所にかかる経営計画及び出店にかかるテナント契約と2JA間の共同経営契約の要旨について審議し可決しました。

第3号議案 納税・町会費等取扱いに係る窓口業務の改善及び口座振替手数料の徴求について

現在、無償で提供している納税及び町会費、各種団体会費の振替業務に対し、平成31年1月から所定の手数料（納税は一部減免あり）を頂くことについて審議し可決しました。
また、各町内会及び各種団体に対し、システム化の導入及び振替回数減少による手数料削減提案を行うこととしました。

第4号議案 理事が代表を務める法人への信用供与について
当JA理事が代表を務める農事組合法人への貸付（利益相反取引）について審議し可決しました。

第5号議案 出資口数の変動について
出資減口の申し出があった組合員3名について審議し可決しました。

報告事項

1 平成29年11月末事業実績について
平成29年11月末における各事業の事業実績を報告しました。

2 平成29年度内部監査（4～9月）に関する報告について
平成29年4月～9月に実施した内部監査の経過概要並びに監査結果について報告しました。

3 内部監査に関する内部評価結果について
内部監査の品質に関する内部評価結果について報告しました。

4 平成29年度上期ディスクロージャー誌について
平成29年度上期ディスクロージャー誌の発行とHP公開について報告しました。

5 その他
自己改革の取り組み進捗状況について報告しました。



部活動応援します。 おにぎり無料配布

JAGグループ石川では、県産米の消費拡大を目的として、毎月2日を『おにぎりの日』と定め、イベントなどを通じて広く県民に周知するとともに、石川県産米のファン拡大をはかる活動を展開しています。

12月4日は、白山市立鳥越中学校を訪問し、放課後部活動に励む生徒へ、「ひやくまん穀」のおにぎり90個とポケットティッシュを、手取支店山下支店長が生徒ひとりひとりに手渡しして、部活動を応援しました。生徒を代表して、久保恵耶さんと上野結芽果さんがお礼の言葉を述べました。次回は白嶺中学校を訪問します。



全員揃って記念撮影（鳥越中学校のみなさん）



いち 支店 協同活動

蝶屋支店

「子ども食堂」へお米を寄贈
12月25日、美川児童館にて開催された「ほっこり美川 子ども食堂」へ白山市ヒヒカリ蝶屋米10kgを寄贈しました。

「ほっこり美川子ども食堂は白山市の委託事業として、白山市社会福祉協議会と美川地区の母親クラブ（カンガルークラブ）が協働で美川児童館を会場に行っています。幼児から高齢者まで幅広く楽しめる「食」を通じ、「身近な地域の方向士のふれあう居場所づくり」「身近な人との繋がりがりづくり」として、子どもを中心とした地域包括的な取り組みを目指す活動組織です。

この日は、美川小学校の児童20名が、クリスマス会に参加し、スタッフ10名と共に楽しいランチタイムを過ごしました。

蝶屋支店では、引き続き様々な形で地域の活動に参加していきます。



贈呈式の様子



手取支店

女性部と手取支店職員

特別養護老人ホームを清掃

12月2日、手取支店女性部のメンバーと支店職員23名によるボランティア活動が、特別養護老人ホーム大門園で行われました。

この活動は入居者にきれいな施設で年末年始を過ごしてもらうために、毎年清掃活動に取り組んでいます。

また、鳥越文化祭で販売した野菜やうどんなどの収益金の一部と、女性部員や支店職員から集められたタオルを寄贈しました。

作業終了後は、園の栄養士より「高齢者の食事について」の講演が行われ、高齢者にも食べやすく、栄養を効率よく摂取するための調理法を学び、介護の苦勞と健康の大切さを考える良い機会となりました。



すみずみまできれいに清掃



青壮年部

バケツ稲コンテスト表彰

11月25日(土)に開催したつるぎ・大神支店合同ふれあい感謝祭にてコンテストの表彰式が行われました。

5月から30名余りの参加者が、バケツへ定植した苗を栽培管理から収穫まで一連の米作りを体験し、青壮年部が参加者のバケツ稲から収穫した米の計量を行い、収穫量の多さで順位を決定しました。

青壮年部の「途中の管理も含めて、一人ひとりが責任を持って育てることで、収穫の喜びがより大きくなる。農業の大変さや喜びを知って、農業の大切さを感じてほしい」との思いで開催しました。

3本の苗から230g前後の収穫があり、参加者は皆、接戦でした。表彰を受けた方は来年も挑戦したいと話されていました。



表彰された方々と青壮年部蔵山支部中村支部長(中央)



部員募集

青壮年部

JA白山青壮年部は蝶屋、館畑、林、蔵山、大神の5つの支部からなる組織です。

地域農業の担い手として、各種活動をしています。青壮年部では、「何かを栽培したい・農業を盛り上げたい」そんな仲間を募集しています。明るい豊かな社会・街づくりのために、次世代の担い手として一緒に地域を盛り上げていきませんか? 農業をしたことがない方でも大歓迎! 私たちと一緒に活動してみませんか? ぜひ、JA白山青壮年部までご連絡下さい。

(本部事務局 27233333 担当:坂井・佐々木)

Facebookにて活動報告しています。



<https://www.facebook.com/ja.youth.hakusan>

チェック▶

青壮年部の活動



比咩の米奉納登山



ひまわり迷路制作



保育園でトマトの定植



ポン菓子の販売



つるぎ支店 よらんかいねえ広場 駐車場造成工事完了

かねてより組合員から要望のあった駐車場拡充について、約1か月の工期を経て、12月22日、つるぎ支店横に駐車場が完成しました。約1、120㎡、40台の駐車が可能です。「よらんかいねえ広場」のお買い物・つるぎ支店のご利用がよりスムーズになりましたので、どうぞご利用ください。

美女性部

第4回グリーンレディースカレッジ

しめ縄飾り完成

12月14日、正月用しめ縄作り教室を本店2階和室で開催し、参加した部員22名は新年を迎える大切な縁起物作りに熱中しました。

この活動は毎年好評の教室となっており、今年はグリーンレディースカレッジの活動として行われました。じゃがいもクラブを講師に迎え、持参した水引、南天、センリョウなどをあしらひ、「しめ縄飾り」と

「一文字」を1時間ほどで完成させ「良い年が迎えられそう」と参加部員は笑顔で話していました。



心を込めて丁寧に作ります



次年度へのステップ

さらなる飛躍を目指して

12月9日、大盛況に終わった「よらんかいねえ！食フェスタin白山」の女性部有志による慰労会が八幡町でありました。

冒頭に竹内組合長より、イベントの準備から当日までの活動と成功裏に対するお礼の言葉があり、清水女性部長からは広く管外に向けて、地産地消の情報発信ができたこと、地域の活性化に女性部として大きく貢献できたことへの喜びと感謝の意が述べられました。

また、今年度の反省とJA自己改革を意識した女性部活動の展開が話し合われ、組合長から次年度の更なる女性部活動への期待が述べられました。



組合長よりねぎらいの言葉

ボランティアクラブ

12月4日、「グループホームあすか」を訪問し、クリスマスカップケーキを手作りしました。入居者10名と一緒に、蒸かしたさつまいも・ドライフルーツを混ぜ込んだ生地を作り、カボチャの種をトッピングして焼き上げました。

その後、手遊びやクリスマススの歌を皆で歌い、賑やかなひとときを過ごしました。



ふれあいサロン

上吉谷もみじ会

12月8日、白山市の担当者講師に迎え、高齢

者や認知症の方が悪徳商法の被害者にならないよう、事例の紹介およびその対策について説明がありました。



もみじ会の様子

蔵寿会(明島第一クラブ)

12月8日、参加者27名は介護予防「足腰びんびん体操」で冬場の運動不足解消に取り組みました。その後、ふれあい食事会を開き、師走の一日を楽しみました。



蔵寿会の様子

営農だより



たまねぎ集出荷貯蔵施設（JAとなみ野）



ビデオによる「明方ハム」の説明（JAめぐみの）

「JAとなみ野」（南砺市）
「JAめぐみの」（郡上市）
（農イノなかのはま1000）あわら市

12月5日から2日間、白山農業振興協議会、集落営農協議会、水稻種子生産組合の3部会より26名が参加し合同視察研修会を開催しました。

初日に訪問した「JAとなみ野」では、「たまねぎ集出荷場貯蔵施設」と「水稻種子資料館」を見学しました。平成20年に8haから始めたたまねぎの生産が、今では作付面積118ha、生産量5.5t、売上高は4億を超える規模になったその取り組み方について学びました。

「JAめぐみの」ではまぼろしのハムといわれる「明方ハム」の製造工程を、（農イノなかのはま1000）では構成員65名が、水田農業に携わっておりその確立された作業体系を学びました。

参加者からは、「理念に基づいた強い経営をぜひ見習いたい」「早急に組織強化に取り組む」などの声が聞かれ、大変有意義な視察になりました。

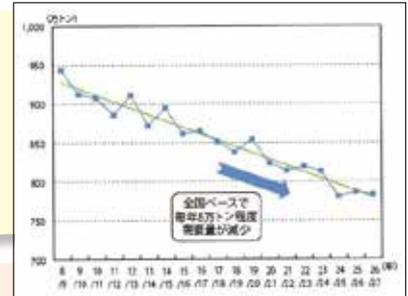
JA白山合同視察研修会

平成30年からの水田農業は？

廃止されるのは… ①国からの米の生産数量目標の配分
②米の直接支払交付金(7,500円/10a) 但し…

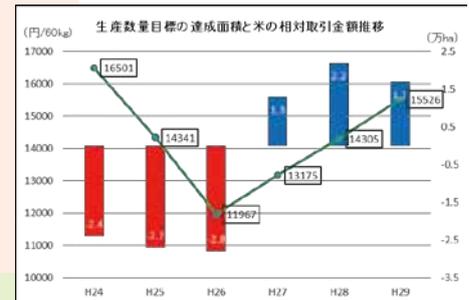
①米の需要量は全国で毎年約8万トンも減少しています。

- 人口減少と食生活の変化等により、米の需要量は毎年8万トン減少している（8万トンは1万5千ha相当）
- 過去の例から生産量が需要量を上回り在庫量が増えると、米価の下落を招く



②生産数量目標の達成と共に米価も回復しています。

- 平成26年産米の大幅な米価下落を受け、全国的に水田転作が進み、平成27年産に現行制度で初めて生産数量目標を達成
- 以降3年連続生産数量目標を達成見込みで、同時に米価も回復傾向にある
→引き続き計画的な米の生産を実施することで、米価の安定を図ることが重要



③全国的に平成30年産米の生産数量目標を提示予定です。

- 国からの生産数量目標の配分は廃止されるが、全国45都道府県は引き続き目標となる数値を提示予定
- 石川県においては、農業活性化協議会が主体となり、平成30年産以降も引き続き生産数量配分を提示し需要に応じた米の生産（いわゆる「生産調整」）に取り組むことを決定している
→全国的に需要に応じた米づくりを推進していく



- 「減反廃止」ではなく、今後も需要に応じた米づくりを進める必要があります。
- 平成30年産米以降も、主食用米の生産基準数量（転作率）の提示を続けます。

おしらせ

「久しぶりに運動ができて、とても気持ち良かった」と参加したママたちは、スッキリとした表情。「ぜひ、ま

しつかりと伝わった様子でした。続けてママフィットネスでは、普段赤ちゃんの抱っこなどで姿勢が悪くなりやすい体を、軽微なストレッチを織り交ぜ、先生の元気なかけ声に合わせリズムよく体を動かしました。

先生の指導のもと、「産まれてきてくれてありがとう」と話かけたり、手足を持って体操したり、ママがお腹に耳をくっつけてお腹の音や心音を聞いたりしてスキンシップをとります。優しく歌をうたったり、マッサージをしたりと、微笑ましいひとときを過ごし、たっぷりの愛情が赤ちゃんにもしつかりと伝わった様子でした。

アンパンマン(仮)もくひびがママのためのフィットネスとベビービクス

「参加したいです」と会場をあとにしたママたちの声が印象的でした。

当JAでは子育て支援サービスの一環として、アンパンマンこどもクラブの活動を応援しています。今年度も多数のご参加をいただきありがとうございます。



共済こぼれ話 入って良かった… 2人に1人が「がん」になる時代 — 医療費の不安 —

これは「がん」を経験された方からのお話です。医療保障にはご加入されていたのですが、「お守り」にとがん共済にもご加入いただきました。なんとその2年後に検診で「がん」が見つかりました。二度の手術、三度の入院、抗がん剤そして放射線と治療を行ったそうです。

「がん」の3大治療法は・手術・抗がん剤・放射線と言われています。高額医療制度を申請しても、自己負担金は2年間で約130万円かかったそうです。放射線も先進医療を用いた場合は240万円！それも北陸では福井県でしか受けられず、そこへ行くまでの交通費もかかります。しかし、高額な費用もJA共済ですべてカバーすることができました！今後は経過観察と、継続費用がかかりますが、万が一に備えたおかげで“入院中の安心感が、心のゆとり”となっていたとの事です。現在は体調も良好で、食事制限（腹八分目・栄養バランス）・運動にも気を使って健康第一!! を心掛けているそうです。 (共済担当Iさん)



営農経済部園芸振興課からのお知らせ

水田転換畑で野菜栽培にチャレンジしませんか 米+αで収益アップ



新たに、水田利用で野菜栽培に取り組んでみませんか？
JA白山では園芸産地振興に取り組んでいます。

品目	お勧めポイント
ブロッコリー	県外の大産地の端境期に出荷する産地として評価されています。また、国産と輸入品は住み分けされており、今後も需要が見込めます。
白ねぎ	収穫期間が長く、計画的に収穫・出荷が可能です。植え付けから収穫、皮むき、選別まで機械化体系が整っています。
ニンジン	播種から収穫、洗浄、選別まで機械作業が可能です。地元市場からの要望が強く、安定した需要があります。
丸いも	贈答用として需要が高い品目です。水稻や大豆作業と比較的軽ならず、経営形態（個人、法人、集落営農）や規模に合わせた導入が可能です。
カボチャ	栽培が比較的容易で大面積の栽培が可能です。関西や中京方面の市場での評価も高く、今後も需要が見込まれています。

※その他の品目についてもご相談ください。 営農経済部園芸振興課 ☎(076)273-5277

★水田転換畑で野菜栽培する場合のポイント★

- ①排水条件の良い田を選び、必ず排水溝を設置する（暗渠のある基盤整備田が望ましい）。
- ②大豆や麦跡の畑地化土壌の活用や隣接水田からの浸水を避けるため、輪作による土地利用を工夫する。

(有)アグリサポート白山は

地域農業振興に向けて情報発信と営農支援に取り組んでいます

12月23日よりお正月用餅の生産が始まりました。(有)アグリサポート白山が使用するもち米はすべて地元産の「カグラモチ」です。

「カグラ」とは「神楽」に由来しており、名前からもわかるように神社・仏閣のお供えとしても使用されている、もち米の中でも最高級のお米です。主に石川県での生産が多く、味・艶・のびと三拍子揃った高級品で、煮崩れしにくいのでお雑煮に向いているのかもしれませんが。

予約の注文は12月中旬で終了していますが、「よらんかいねえ広場」店頭では紅白丸もち、のしもちを1月も販売しています。安全・安心、心をこめて作っています。ぜひお買い求めください。 (担当：田中)

もちができるまで



せいろで蒸しています

蒸したてつやつや



1つ1つ手作りです



よらんかいねえ広場
店頭にてご購入いただけます



求む! 農業経験者 JA職員の臨時募集

第2次農業振興計画における農業生産の拡大と今後の若年層育成のため、次の項目について人材を募集しています。

- | | | | |
|---------|---|-------|---|
| ■就業場所 | JA白山営農経済センター
白山市井口町は7番地1 | ■就業時間 | 原則、8時30分～17時15分
(休憩60分、実働7時間45分) |
| ■採用予定人数 | 若干名 | ■その他 | 年次有給休暇(正職員に準ずる) |
| ■雇用形態 | 臨時職員(正職員への登用実績有) | ■待遇 | 各種社会保険加入、賞与年2回、交通費支給
(当組合規程による)、その他福利厚生あり |
| ■雇用期間 | 採用日～平成30年3月31日(1年ごとに更新あり)
※採用日については応相談 | ■応募資格 | 高校卒業以上、農業・農作業経験者優遇、
普通自動車免許(AT限定は不可)、年齢は40歳迄 |
| ■職種 | 農業関連業務(農作業、農業事務、農業施設運営、出荷、配送) | ■応募方法 | 本店臨時採用担当係まで下記応募書類を
持参または郵送にて提出してください。 |
| ■給与 | 平均月給20万円～25万円
農業に関する経験・能力を考慮 | ■応募書類 | 履歴書(写真貼付)、職務経歴書 |
| ■休日 | 週休2日(勤務カレンダーによる)
年末年始(12月31日～1月3日) | ■選考方法 | 書類選考、面接 |

JA白山 よんがね広場 スタッフ募集

- | | | | |
|---------|--|-------|--|
| ■就業場所 | よらんかいねえ広場 白山市井口町に58番地1 | ■雇用形態 | パート職員 |
| ■採用予定人数 | 若干名 | ■雇用期間 | 雇用期間の定めあり(採用日～平成30年3月31日) 契約更新あり(原則更新) |
| ■職種 | 店舗スタッフ(ファーマーズマーケット)
店舗の運営、レジ、商品のカット包装・運搬・陳列、弁当惣菜の調理加工など ※仕事の内容は希望、経験、能力を考慮して決定します | ■給与 | 時給810円～850円 |
| ■休日 | 週休2日制 | ■就業時間 | 8時～19時までの間で4時間以上 勤務シフトにより決定します |



この件に関するお問い合わせ先

白山農業協同組合 本店 総務部 採用担当係 嶋田・中川
〒920-2154 白山市井口町に62番地1 TEL(076) 272-3333

暮らしを守る大切な屋根。
JAでは屋根の修理・葺替工事を承っております。

- 各種瓦 販売葺上施工 ●屋根葺替工事 ●屋根修理工事一切etc...



住宅の新築は
もちろん
リフォームの
工事等についても
お気軽に
お近くのJAへ

屋根は建物の生命

お問い合わせは

お近くの各支店 または

JAホーム 株式会社 JA建設エナジー

☎076(240)5441

小松営業所 ☎0761(21)8588

七尾営業所 ☎0767(53)1023

松任税務署からのお知らせ

●申告相談をお受けする体制は2月16日(金)からとさせていただきます。

所得税・消費税の確定申告に関する相談の受付は、2月16日(金)からです。
相談が必要な方は、2月16日(金)～3月15日(木)の間にお越しください。

受付時間▶月曜日～金曜日 午前9時～午後4時

※会場の混雑状況により、午後4時前であっても受付を終了する場合があります。

【確定申告会場へお越しになる方へ】

- 税務署ではパソコンに入力して確定申告書を作成しております。
- 会場が混み合う場合には、長時間お待ちいただくことがあります。
- 確定申告書に計算誤りなどがある場合には、税務署から文書にてご連絡**します。
- ご自身で作成された還付申告書は1月から受付しております。
- 確定申告書にはマイナンバーの記載と本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。

会場へお越しの際は、次のいずれかをお持ちください。

- ・マイナンバーカードをお持ちの方▶マイナンバーカード
- ・マイナンバーカードをお持ちでない方▶通知カード+顔写真付きの身分証明書(運転免許証など)



所得税や消費税の確定申告書の作成は、国税庁ホームページ (<https://www.nta.go.jp/>) 「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。

メリット!!

- ①印刷した申告書を郵送で提出できる**
自宅や会社のパソコン、タブレットを利用して申告書を作成し、印刷したものを郵送で提出できます。
- ②自動計算される**
給料や年金などの収入金額や扶養親族の氏名・生年月日などを入力すれば、税額が自動計算されます。
- ③次回の確定申告書をスムーズに作成できる**
入力したデータを保存すれば、次回以降の確定申告書の作成に利用できます。

「入力方法がわからない」「操作方法がわからない」といったご相談は、電話でお問い合わせできます。まずは電話にてご相談ください。

お問い合わせはお電話で!

確定申告電話相談センター

税務署に電話していただき、自動音声案内に従い、番号「0」を選択していただくと、「確定申告電話相談センター」につながります。

☎**076-276-2345**
(松任税務署)

- ★開設期間 平成30年1月18日(木)～平成30年3月15日(木)
- ★受付時間 月曜日～金曜日 9時～17時(祝日を除く)

e-Tax作成コーナーヘルプデスク

☎**0570-01-5901**
(全国一律市内通話料金)

- ★受付時間 月曜日～金曜日 9時～17時(祝日等及び12月29日～1月3日を除く)

お問い合わせ先／松任税務署 白山市博労2丁目22番地 TEL (076) 276-2345

私たちの (平成29年11月末実績参考)

組合員数	6,908名(団体含)
貯金残高	70,297百万円
貸出金残高	16,681百万円
長期共済保有高	2,146.3億円
購買品供給高	1,406,895千円
販売品取扱高	878,234千円
職員数(パート除く)	139名

無料税務相談会 **要予約**



当JA顧問税理士
福田 正寛

- 開催日時 平成30年1月25日(木) 平成30年2月23日(金)
午前9時～12時(基本30分単位)
- 開催場所 JA白山本店

お問い合わせ・お申込先(担当/総務課 小坂)

TEL **272-3333** FAX **273-0690**
e-mail **soumu@hakusan.is-ja.jp**

お申込み順に受け付けております。

